

## 第1回 南砺市公共施設再編計画検討委員会 会議録【要点筆記】

1. 開催日時 平成22年6月24日（水）午後2時から4時15分
2. 開催場所 南砺市役所福野庁舎 2階講堂
3. 出席者 ○委員16名  
大塚千代、大村 元、沖田光弘、川合声一（副委員長）、北田正雄（委員長）  
久恵博明、斎藤れい子、得能新太郎、中西鐵三、能登貴史  
野原恵子、長谷節子、藤井信行、藤井美由紀、細川 哲、松川 功  
○アドバイザー1名  
新町栄一  
○行革推進本部7名  
田中市長（本部長）、平本市長政策室長、下田総務部長  
三谷民生部長、大浦産業経済部長、上坂建設部長、永井教育委員会理事  
○公共施設検討小委員会2名  
宮崎委員長（利賀行政センター 次長）  
丸田副委員長（財政課 管財係長）  
○事務局（総務課）4名  
一二三総務部次長、村上副主幹、長岡主任、高田主任
4. 欠席者 なし

### ○開 会 14時

（総務部次長）

ただいまより、第1回南砺市公共施設再編計画検討委員会を開会いたします。

### ○委嘱状交付

（総務部次長）

この委員会は、南砺市行政改革懇談会設置要綱第5条の規定に基づきまして、南砺市の公共施設の再編に関して、広く市民の皆さんから意見を頂くことを目的として本年度新たに設置させていただくものです。

本日は昨年度作成し3月に公表させていただいた、「南砺市公共施設の再配置に関する方針」等の資料を基に、公共施設再編の中でも重点施設に位置づけされている温泉施設、宿泊施設、スキー場を中心に皆様方からご意見をいただきたいと思っております。

なお、アドバイザーといたしまして、財団法人北陸経済研究所 地域開発調査部長の新町栄一様にもご出席いただき、後ほどご提言とご助言をいただきたいと思っております。

また、委員会の設置にあたりまして、皆様への委嘱状につきましては、本日は事前にお手元に配布させていただいております。

○委員紹介

(総務部次長)

それではここで、本日まで出席いただいております 16 名の委員の皆様、並びにアドバイザーをお手元に配布しております委員名簿の順にご紹介をさせていただきます。

[委員紹介]

◆南砺市公共施設再編計画検討委員会委員 (敬称略、五十音順)

南砺市行政改革懇談会委員	大塚千代 (おおつか ちよ)
南砺市 P T A 連絡協議会副会長	大村 元 (おおむら はじめ)
南砺市自治振興会連絡協議会副会長	沖田光弘 (おきた みつひろ)
南砺市観光協会会長	川合声一 (かわい せいいち)
南砺市行政改革懇談会副会長	北田正雄 (きただ まさお)
南砺市体育協会理事長	久恵博明 (きゅうえ ひろあき)
公募委員	斎藤れい子 (さいとう れいこ)
南砺市公民館連合会副会長	得能新太郎 (とくのう しんたろう)
南砺市老人クラブ連合会監査役	中西鐵三 (なかにし てつぞう)
特定非営利活動法人 P C T O O L 代表理事	能登貴史 (のと たかふみ)
南砺市さわやかネットワーク理事	野原恵子 (のはら けいこ)
公募委員	長谷節子 (はせ せつこ)
公募委員	藤井信行 (ふじい のぶゆき)
南砺市商工会女性部	藤井美由紀 (ふじい みゆき)
南砺市商工会専務理事	細川 哲 (ほそかわ てつ)
公募委員	松川 功 (まつかわ いさお)

◆南砺市公共施設再編計画検討委員会アドバイザー

財団法人北陸経済研究所 地域開発調査部長	新町 栄一 (しんまち えいいち)
----------------------	-------------------

なお、市当局からは市長ほか関係部長が出席させていただいております。出席者につきましては、お手元の座席表でご確認いただければ幸いです。

○本部長 (市長) あいさつ

(総務部次長)

それでは、開会にあたりまして、市長からご挨拶を申し上げます。

(市長)

本日は梅雨と申しましても大変さわやかな日になりました。先日行われました 6 月の定例会の中でも、今後の公共施設の再配置・統廃合をどのようにしていくのかについて、議論をしていたところでございます。この 22 年度に、南砺市全体の中で継続可能な地域、そして南砺市を創るために、どのようにしていけばいいのか？もちろん各地域の熱い思いで造ってきた施設ですが、それらについて方向性をしっかりと出していきたいと思ってお

ります。また、今回の委員には公募の方もおられますので、色々のご意見を賜り、我々もそのご意見を肝に銘じて取り組んでいく覚悟です。

本日は新町アドバイザーにも出席いただき、施設の担当部長も出席しておりますが、現場の職員の声、利用者の声など、多くの方々の意見を必要とする場面があると思いますが、私自身も多くの方々の意見を聞いていきたいと思っております。

また、マスコミの方々等、多くの方が来場していただいておりますが、当然このような会議でございますので、最近では事業仕分け等でオープンに会議を行うことが多くなっておりますが、公開する部分は公開し、熟慮が必要な部分については内々の討論の後で公開することも必要ではないか、そして、最終的にはそのプロセスと結果を逐次報告していく形が良いと自分自身は思っております。

このような時代ですので、国及び市の財政状況、雇用の状況など様々な角度で検討いただくことも大事ですし、数多い施設を今後どうすればよいのか？そして“スクラップ&ビルド”“選択と集中”と様々な意味で皆様の意見をいただきたいと思っております。

本日は行政改革懇談会からも委員の方に参加いただき、この委員会、行政改革懇談会、分科会など組織が何層にもなっておりますが、しっかりと議論していきたいと思っておりますので、ご協力よろしく願いいたします。本日は誠にありがとうございます。

#### ○会長、副会長の選出

(総務部次長)

次に、委員長及び副委員長の選出についてお諮りいたします。

お手元にあります「行政改革懇談会設置要綱」第5条第4項によりますと、委員長は委員による互選、副委員長は互選された委員長の指名によることとなっておりますが、この委員会については、行政改革懇談会の中に設置させていただいた専門委員会という位置づけでございます。皆さんのご意見があればお聞かせいただきたいと存じますが、まずは事務局案として提案させていただきます。委員長には行政改革懇談会で副会長をお願いしております北田正雄委員にお願いをしたいという思いですが、ご意見等ありますでしょうか？

〔「異議なし」の声多数〕

皆さん異議なしということですので、北田委員には委員長をお願いいたします。

続きまして、副委員長についてもお諮りさせていただきたいと思っております。先ほどもお話ししたとおり、副委員長については、互選された委員長が指名することとなっておりますが、将来にわたる温泉施設、宿泊施設、スキー場のあり方を審議頂くことが主目的になり、このことは南砺市の観光戦略にも大きな影響を与えることが予想されるところでございますので、南砺市の観光協会の会長であります川合声一委員に副委員長をお願いできればと思っておりますが、皆さんご意見があればお伺いしたいと思っております。

〔「異議なし」の声多数〕

ありがとうございます。皆さん異議なしということで、川合委員には副委員長をおねが

いするということで、委員長、副委員長のお二人におかれましては、委員長・副委員長席に移動願います。

○会長、副会長あいさつ

(総務部次長)

それでは委員長からご挨拶をお願いします。

**【委員長】**

皆様ご苦勞様でございます。この公共施設の再編検討委員会の意見を取り纏めよということでございますので、私が皆様方の互選によりこの役をおおせつかることとなりました。何分こういったことは不慣れでございますが、ご協力をよろしく願いたいします。

振り返りますと平成 19 年に「さきがけて 緑の里から 世界へ」というキャッチフレーズの基に南砺市総合計画の立ち上げに始まり、その後、行政改革懇談会の委員をさせていただいております。そして、今回の委員会におきましては、旧 4 町 4 村にまたがります 1,200 を超える施設が本当に新生南砺市のために必要なのかについて、また、どのように再編すればよいのかについて、皆様方から知恵をいただき、南砺市の血となり肉となる方向付けを決めさせていただく大切な委員会と思っています。

いずれにしても、皆様方の貴重なご意見をいただきながら、この会をスムーズに進めようと思っていますが、委員の皆様のご協力なしでは務まりません。副委員長さん共々ご協力いただきながら、まとめていきたいと思っていますので、各位のご協力とお力添えをお願い申し上げまして、挨拶の言葉とさせていただきます。

(総務部次長)

どうもありがとうございました。続きまして、副委員長からもご挨拶をお願いいたします。

**【副委員長】**

今ほど委員長、市長からも話がありましたとおり、大変重要な問題であると思っています。南砺市が元気で発展するためには今あるものをどう活かすべきなのか、また、集中と選択という話もありましたが、皆さんと一緒に広く知恵を出し合って、一つの方向に方向付けできればと思っています。微力ではございますが委員長をサポートしながら、皆さんと共に知恵を出し合っていきたいと思っていますので、よろしく願いたいします。

(総務部次長)

ありがとうございました。なお、市長には公務がございますので、ここで退席させていただきます。

(市長)

それではここで中座します。先ほど挨拶にも申しましたが、色々と広い意味で皆さんのお知恵をお借りしながら、そして南砺市の将来に向けて、また、一段と輝かしい市を創るために、ご助言を、そしてアドバイスをいただきたいと思っていますので、よろしく願います。それでは失礼します。

○議事

(総務部次長)

それでは早速でございますが、協議に移らせていただきます。ここからの進行につきましては、委員長をお願いいたします。

【委員長】

それでは早速会議を進めさせていただきます。

皆様方のお手元に前もって資料が配布されております。目を通された方もありますが、膨大な資料で十分ご理解いただけない部分も多くあるかと思っております。特に今回は南砺市にあります1,200を超える施設の中で、特に近いうちに問題になると思われるものが、温泉施設28施設、スキー場62施設、宿泊施設66施設でございます。始めにこの3つの施設類型に絞って、協議をしたいと思っております。

それではこの3つの施設類型の説明を事務局のほうからお願いします。

【I委員】

私は公募で応募した者ですが、スタンスについて少し確認させてください。

【委員長】

どうぞ。

【I委員】

まず公募の募集要領を見ますと「委員の仕事として、南砺市が選任した学識経験者等の委員と共に、南砺市公共施設再編計画検討委員会委員として南砺市における公共施設の再編・再配置に関する調査・審議をしていただきます」となっており、任期は委嘱の日から平成23年3月末まで(計画策定終了まで)となっておりますが、今のお話では、今回の委員の役割は、温泉・スキー場・宿泊施設の3つだけということでしょうか?それとも、それらを先にやってから他の施設をやっていくということでしょうか?

【委員長】

全ての事業についてご検討いただきたいと考えていますが、本日は初めての委員会なので、膨大な資料全部を説明するのは難しいと思い、特に当局から前もって検討いただければありがたいと聞いております3つの施設類型について、まず説明し検討いただければと思っております。その検討結果も皆さんのご意見により、すぐさま結論がでるものではないと思いますが、いずれにしても、方向付け等々を決める大きな一つの石段になると思っております。また、この3つの施設類型だけではなく、全ての施設についてご意見いただく機会を設けたいと思っております。

【I委員】

では、一応全てを対象としているが、先に3つをやるという理解でよろしいのですね?

【委員長】

そうです。

【I委員】

わかりました。

【委員長】

それでは当局から、3つの施設についてなるべく要点だけかいつまんで説明ください。

[事務局から説明]

◆南砺市公共施設の再配置に関する方針について

◆公共施設管理経費（温泉施設・スキー場・宿泊施設）について No. 1

【委員長】

公共施設の再配置に関する方針と管理費の関係、主なものをピックアップして説明いたしました。説明の中でわかりにくい点などあればお聞かせください。

【D 委員】

宿泊施設、スキー場等につきましては、指定管理者制度を導入していますが、この指定管理者の収入とか支出について、どのような条件がついているのか教えてください。

それから、市の一般財源からの支出負担は、決まった額なのでしょうか？というのも支出の条件について、たとえば赤字になった場合の責任はどうなるのでしょうか教えてください。

【委員長】

当局、説明をお願いします。指定管理業者との契約についてかと思えます。

(事務局)

指定管理料の算定については、元は直営の施設でございますので、市が直営していた時の経費データがございます。それを元に契約年度の利用者数等を推測いたしまして、運営にはいくらかかるのか、そのうち利用収入はいくら入るのか、を積算して、不足すると予測される金額を指定管理料として市が補うという考え方を基本としております。

また、赤字になった場合でも基本的には補填いたしません。逆に、黒字になっても市へ戻してくれとも言いません。ということで、経済状況の変化などもあるわけですが、基本的には指定管理料の中で運営していただくことになっております。

【D 委員】

今の話でいきますと、指定管理者制度の場合は営業努力の優先度が非常に高くなると思います。もし赤字であった場合でも努力によって黒字になるのであれば、そういう意味において指定管理料についても細かい条件が必要であると思います。

【委員長】

ご意見として伺っておきます。その他に判りにくかった点などございませんでしょうか。

【L 委員】

これだけ多くの公共施設の中で、特にこの種の施設には指定管理が一つの流れになっており、22年度予算におきましても、温泉の特別会計は無くなったりしております。

その前に、この検討委員会は行政サービスを削ることが役割だと思っています。とすると市民から見ると褒められる立場ではなく、むしろ悪役を買って出るような覚悟で進めなければならないと思っていますが、今日はマスコミの方も大勢来ておられますが、余り個

別の情報の公開については控えていただきたいと思います。

それで先ほどの続きですが、指定管理がいかにも特効薬のようにどこの自治体でも実施しておりますが、果たしてどの程度の有効性があるのか、直営に比べて指定管理にした場合の一般財源の持ち出しはどの程度抑制されたのかが判るデータはございますか？

**【委員長】**

事務局から説明をお願いします。

(総務部長)

基本的に指定管理をする際の考え方ですが、ご指摘のとおり経費を削減するという面もありますが、経費を削るという部分より公務員的な手法ではなかなか良いサービスが出来ない施設について、民間のノウハウを活かしたいという考え方であると理解ください。

また、先ほど指定管理料の算定についてご説明いたしました。指定管理者からは「いくら収入が見込まれて、いくら支出が必要で、その差額をいくらもらえれば自由なサービスが出来ます」という提案をまず始めにいただきます。当然その提案額と、従来市が直営でやってきた際の経費とを比較して、直営時代よりも経費が安くないと指定管理にはいたしませんので、必ず経費は削減されております。ただ、削減金額までは掴みにくい部分がございます。担当のほうも困っておるわけですが、次回の委員会までに、細かい数字にはならないかもしれませんが、何かしらの資料をお示ししたいと思っております。

**【L委員】**

わかりました。よろしく願いいたします。

今言われた、十分な住民サービスが出来るようになるというのが、指定管理者制度の目的でもあります。その他職員定数を減らすとか、色々な含みがあるのかとも思います。

また、仕分けの方法についても、例えば温泉施設の中で、この施設は何番目なのか？と順番をつけることになるかと思いますが、個々施設の仕分けに入る前に、温泉・宿泊・スキー場というものを本当に行政が運営しなくてはいけないのかを考えてから、個々の施設を仕分けないと、結局はほとんどの施設が残ってしまうと思います。

**【J委員】**

実は私は指定管理を受ける立場を経験しておりまして、その経験から指定管理というのが、言葉だけ先になってしまっているような気がします。

コスト削減のために指定管理をしていることが全面的に出ていますが、では、指定管理にしたことで、利便性とか、必要度はどのように変化したのか？また、その基礎データが行政側にあるのか？というのが1つの疑問としてあります。というのも、施設は全て指定管理になり、かかっている経費についても分かるのだけれども、利用者の方がどういうふうに感じていて、その施設がどのように変化したのか？という部分まで利用者アンケートなどによる評価なんか僕らに見えないと、かかっている経費の数字面しかわからない。要するに、今のご質問の方の意見にもありましたが「必要性」って言葉って非常に漠然とした言葉で、本当に何が必要で何が不要で無いかというのは地域によっても違いますし、どこにどういう施設が、何がどう必要なのか？漠然と「必要性」という言葉だけでくら

れると、同じ土俵に立って議論が出来ないのではないかと思います。

そこで、市側の検証する指定管理という言葉、「必要性」という言葉、これをどう捕らえていくのかを考えて今後議論する必要があると思います。これを数値化するのは難しいかもしれないけれども、ある程度固定的なシンキングベースがあれば、僕らもここで話がしやすいかと思います。

#### 【K 委員】

今、おっしゃったとおりで、指定管理になったらどう変わったのかについて検証すべきだと思います。良かったのか、悪かったのか、当然良くなるためにやったものだと思いますが、それは金銭的な面で良くなったとか、サービスの面で良くなったとか、検証しなければならないと思います。

でも、それ以前にやっぱり数が多すぎます。4町4村が合併したのだけど、ほとんどの地域にスキー場、温泉、宿泊施設があるというのは、常識的に考えて多すぎると思います。しかし、財政的に問題がなければ住民サービスなのだから全部やればいいに決まっています。でも財政的に今のまま続くかといえば続かない。それでは、どの程度削減しなくてはならないとか、市の目標は有るのでしょうか？その辺があれば教えてください。

次に、資料について 21 年度の資料は無いのですか？最新の資料を見て考えていかないと遅いと思います。自治体のデータは他の県のデータ見てもそうなので、何か理由があるのかもしれませんが、最新のデータでやったほうがよいと思います。

それと、先ほどの説明で「収入」の部分についてですが、「一般財源等（指定管理料含む）」という部分が市の負担分だという理解でよろしいのですか？そのほかにも 1 番下の「説明」の部分にも工事費などありますが、どちらの負担なのかについて、先にお聞きしたら、施設は市の持ち物ということで、維持管理についても今後も市が負担していくのだと思いますが、その辺について教えてください。

（総務部長）

まず、1 番最後の市からどれだけの経費を持ち出ししているのか？というご質問についてですが、先ほど担当からも申し上げましたとおり、2 番の管理経費に書いてあるものは、指定管理者が出してきた決算書から作成したものです。また、最後の「説明」という部分に記載してあるのは逆に市の決算書から出している数字です。要するに、施設の大きな修繕とか土地の賃借料などについては、市から直接支払っております。それぞれ負担する部分が違うということで、少しわかりにくい書き方になっておりますが、そのように見てやっていただきたいと思います。

要するに、市の持ち出し分がいくらなのかと言われますと、下の「説明」欄の金額が市からの持ち出し分ということになります。

それと、21 年度の決算資料はでないのか？というご質問ですが、行政の会計は 3 月 31 日までに債務・債権は確定しておるのですが、5 月 31 日まで出納整理期間というものがありまして、複式簿記ではないこともあり 5 月 31 日をもって最終決算を出すというスタイルをとっております。その関係で 5 月 31 日を過ぎないと最終的な決算が出ません。確



かに確定した数字でなければ出すことは出来ませんが、公表して問題ない数字となるのは5月31日が過ぎてからになります。また、5月31日が過ぎてから集計を始めますので、本会議には間に合わなかったのが実情です。

**【K 委員】**

それでは、いつ頃出せるのですか？

(総務部長)

決算の認定につきましては、9月議会になります。

実は出納閉鎖をしましてから監査委員の決算監査を受けます。更にそれを取り纏めた上で9月議会に提案して決算認定を受けるということになっておりまして、正式に公表できるのは、他の市町村においても10月になります。大変不親切な部分もございますが、そのような制度になっているということをご理解ください。

**【K 委員】**

非常に遅いということは言えますが、他の自治体もそうであるということですのでそれ以上のことは申し上げませんが、なるべくなら新しいデータをお願いします。

**【E 委員】**

先ほどから聞いていますと、議題が広すぎて何を言って良いのか分からなくなっていますが、たとえばこの管理経費の全体額ですが、3つの施設類型を足しますと約17億円、そのうち市からはいくらの補助が出ていて、それは適正な金額か？それを何パーセントくらい削減するのか？ということだとか、例えば、利賀のスノーバレーに多大な助成をして、天竺温泉はそれ以下の助成でやっている。では、どちらの利用度が大きいかというと、温泉施設のほうに住民にとっては利用価値があると思います。

そういうことも十分に考慮して、一つ一つの施設について予算が大きくないか？とかそういう場合の採点方法があるのかどうか？利用度はどうだ、そんなに沢山の人が利用しているとは思えませんし、その辺に的を絞っていかないと「3つを総括して議論をしましょう」といってもなかなか答えが出ないと思います。

**【委員長】**

本日は最初の委員会ですし、旧8町村各々が魅力あるまちづくり、むらづくりを考えて、ご苦労されて施設をつくってこられた。しかし、合併後よりサービスの向上と経費の削減を考え指定管理者制度を導入し、指定管理者の方々にご苦労いただいて運営しているのが1つの流れとなっております。範囲が広すぎて困るといいますが、旧の8町村で各々努力してこれらの施設を建てられたということで、例えば温泉施設ひとつとっても、合併後は南砺市全体で「6つもあるじゃないか！」という問題が出てきましたが、合併前は各々の市町村で「隣のまちには負けたくない」という意識で無い財源を駆使して建設したものであります。様々な問題があると思いますが、やはり今ある施設は旧8町村の関係された皆さんには思い出も多い施設ですので、一概に全てがどうこうというわけではございませんが、南砺市には本当にそうした施設が必要なのか必要でないのかという、高い次元で見てやっていただければと思います。

また、指定管理者制度の契約の内容がどうなっているのか？たとえば10年契約になっているとか、10年の間は契約破棄するわけにはいきませんか、違約金を取られるという問題があるのか無いのか？とか、毎年更新なのか？とか、その辺もちょっと判りにくい部分もあり、いづれにしてもまだまだ問題は沢山あると思います。皆さん方がこうした施設を見て、どうあるべきか？という端的なご意見を今日伺えればありがたいと思っております。一つ一つの施設を踏み込んで仕分けできるとは思っておりません。総合的に見てどうでしょうか？というご意見を伺えればと思っております。

#### 【L 委員】

昨日の市議会で、スキー場の予算づけについてかなり意見があったということで、そういう関係から、温泉・スキー場・宿泊施設をまず整理してかかると、というような執行部のお考えかな？と思うのですが、今、委員長さんおっしゃったように、施設一つ一つにはそれぞれ歴史があるわけで、あの施設は〇〇先生が頑張って予算を持ってきてもらった施設だとか、思い出せば色々あるわけで、それをどうこうすると言うと、地元の人はどうしても抵抗がありますし、皆さんにも浮かぶ顔があるのではないのでしょうか。これはやはり、どこから手をつけるというものではなくて、どういう考えで進めるべきか？ということだと思います。

私は、南砺市が縮減傾向にある中で、市民が何を求めているかということ、もっと活気のある南砺市にすることだと思います。そのためには、やはり若い人が南砺市に定住してくれるまちにしなければならぬと思っています。では若い人は何を望んでいるかということ、温泉施設やスキー場は無いよりはあったほうがいいのですが、それよりもむしろ子育てがしやすい施設だとか、或いは福祉施設が充実しているとか、極端に言えば市民税が他より安いとか、そういったサービスのほうが転入していただける可能性が高いのではないかと思います。そうすると、昔ながらの施設については、廃止の方向に持っていくべきではないのでしょうか？温泉を市で持っている必要性があるのか？ということです。

そこで、もっと根本的な整理の仕方として、各類型のくくりで行政として最低限必要なものは何なのか？をまず区分けをし、それから外れる施設については、財政に余裕があれば、必要度の高いものから残すということをやっていく必要があるのではないのでしょうか？

したがって、本日のこれとこれとこれについて、結論を出しましょうという進め方はちょっと難しいのではないかと思います。

#### 【委員長】

冒頭から申しているとおおり、今日すぐに結論を出したいというわけではございません。各々の地域からまた団体の代表者の方々でございますので、そのようなご意見をお持ちかなあ？ということを出ればフランクに話できればありがたい。また、その意見を集約させていただいて、方向付けを決めていきたいと考えております。

#### 【M 委員】

先ほどから言っておられる温泉とかスキー場、大変私にとっては大事な施設です。そこで、建物は大変すばらしいのですが、そこに働いているトップの人、その人の考え方によ

って、経営がうまくいくかどうか決まってくると思います。

私の利用しているあるところでは大変すばらしい施設なのですが、施設のトップの方の考え方で、このデータを見ても利用者が少なくなった分のお金を市の会計からもらっています。それは、指定管理ということで赤字分も市からもらえると楽にまっっており、私はそのことが大変不満です。もっと利用してもらうにはどうしたほう良いのか？と自分たちの経営のやり方について、考えてないような気がします。

トップは市から助成金をもらって、自分も沢山の給料をもらえればそれで良いと考えています。どうやったら自分たちが上手く経営できるか？こういった財政が苦しいときに、もっと市から話し合いの場をもって、どういう考え方で経営をしているのか？を考えさせてください。天下りしている人が経営をしているようでは甘いです。もっと色んなところから募集して、上手く経営してくれる人を選んでほしいと思っています。

**【委員長】**

スキー場も大きな問題になっています。学校教育と、子供さんがのびのびと育てくれる、自然と触れ合う施設として大変大事な施設であると思っていますが、F委員、学校教育や父母の会の立場で色々ご意見もあるかと思いますがいかがですか？

**【F委員】**

先ほどからもいくつかご意見を伺っておりまして、私も同感だなあとっておったところが、今のご意見にもありましたけれども、今ある施設をもっと良くしていこうという努力があるのか？市がお金を出さなくても経営していけるような体制をとる努力っていうのが、あるのか無いのか？ということが大事なのではないかと思います。指定管理者が独自の力で経営していけるだけの力をつけていくということが可能かどうかということも検討していかなくてはならないのではないかと思います。

大きい施設、小さい施設あるかもしれませんが、どれをとりましても、そこに住んでいる人たちにとっては、子供ばかりでなく、地域の人すべてにとって大切な施設ばかりであると思うので、出来るだけ残していけるような方向に行かないものかなあ？と思います。

それでも努力したけれども、どうしてもダメだということであれば、また考えていけばいいのではないのでしょうか。

こういうスキー場、宿泊施設、キャンプ場やコテージなんかの施設は、地元に住んでいる子供たちにとって必要ですし、県外、市外、様々なところから来られる人たちのためにも、それぞれに良いところがあるので、まずは自営の力をつけていただければいいのではないかと思います。

**【委員長】**

色々なことを考えてみても、やはり南砺市自体は冒頭に説明されたとおりに高齢化社会でございますし、どうしても人口が微減している状況でございます。

しかし、世界遺産があり、観光施設も沢山あるわけでございまして、やはり交流人口の拡大を狙っていかなくてはならないと思っています。こういった面に、これから南砺市の都市づくりの活力を求めなければならないのではないかと感じておりますが、B委員

ご意見をお聞かせください。

#### 【B 委員】

私は一般財源の経費が、現在合併して 6 年目ですが、今後合併特例債など様々なものが右肩下がりになってくると思っています。+αとして逆に建築年数が経てくると、どうしても経費がかさんできます。やはり、目標としてあと何年後には一般財源の必要経費・持ち出し経費をこれだけに抑えます、皆さんどうですか！と聞くよりも、市の総合計画としては、こういった形で斬新に考えています！と言えるように、今後話し合いの中で決めていければ良いと思いますし、今日のような温泉施設とか、スキー場とか、宿泊施設の話になると、どうしても山間部に集中しています。今日はマスコミの方おられますが、それをどうこうという話になると、「平野部にもいらないものが沢山あるのに、何で私たちだけ……」とヒガミのような意見も出ますので、話が一人歩きしないように全体で考えて、例えばAのところを1つ減るなら、他では2つ併せて減るだとか、南砺市では今まで、施設が壊れると順番に直してきたのですが、これからはメリハリをつけ「将来活かしていく施設」「駄目になったら壊す施設」しっかりと判断して、同じ規模の中でこういったものが将来増えて、こういったものが要らなくなるのかについても考え合わせていかないと、一つ一つの思いを考えてやっていくとスクラップ&ビルドは出来ないと思います。

指定管理にされておりますけど、これで数年間経ちますので、費用対効果についても中に入れていっていただきたいと思います。

最後に、市の方針として中長期の方向性を大まかでいいので出していただいて、逆算でどうするべきか？を考えていったらいいのではないかと思います。

#### 【委員長】

今日の話の中にも載せておりませんが、若者が活力を求めて活動していただけるというものに、この他に体育施設が 52 施設あるのですが、H 委員スキー場も含めてコメントをお願いいたします。

#### 【H 委員】

わたくし体育関係ですが、まずスキー場に関しまして、南砺市内にこれだけのスキー場があることについては、私もちょっと異常だと思っております。

ただ、昔はこれだけあっても運営は出来ていたのが、子供が少なくなり、親が外に出て運動をしなくなったことなど、色々な要素が入っているのだと思います。

また、ここ最近雪が降らなかったり、逆に降りすぎると交通が麻痺したりと、スキー場に関しては気候の影響もあると思います。また夏場の活用方法によっては、違う収入を得ることも出来そうですが、見ているとやっているのは一つか二つの施設のみで、もう少し考えてやってほしいとも思います。

あと、体育施設については、施設自身は老朽化が激しく、耐震化などの改善要望が非常に多くなっています。ただ、合併後はサービスの平準化の観点から使用料を取って運営するようになっていますが、皆さんが使えば使うだけお金を払っていただければ、建物自身の維持管理なども色々出来るのではないかと思います。このようなことを市民が理解をせ

ずにやっているのがいけないのではないかとともに思います。

**【委員長】**

こうした施設について様々な問題を抱えているわけですが、このような委員会では女性の声がなかなか聞こえないものですが、半分以上が女性でございますので、女性委員からお願いしようと思います。

**【N 委員】**

温泉だとか、スキー場だとか、管理されている団体に天下りの職員は何人おられるのですか？その人のやり方によって運営が違ってくると思います。

私は現在、富山県商工会女性部の副会長をやっており、来年商工会女性部の大会が富山県であります。お客さんを誘致しようと思って先日ある温泉の方へ行ったら、誰が来たのかな？と一度見るだけで、接客がなっていないのです。ここにおられる管理職の方々も月に何回かは行ってみてください。お客さんを誘致したくても、ああいう態度なら行きたいと思いません。もう少しやる気のある職員を配置してください。

これでは宇奈月や立山にお客様取られても仕方ないです。もうちょっと管理職もしっかりしてください。先ほども言われたように、トップが替わればお客さんも来るようになるかもしれません。私は来年来る 2,000 人の商工会女性部の世話を一生懸命やっていますが、庄川なんかはお客様を回してほしいとアプローチがありますが、南砺市は全く駄目です。

**【K 委員】**

お聞きしますが、指定管理者って天下りなのですか？

(事務局)

今のご質問に対してなんですが、本日資料を出しております温泉施設、スキー場、宿泊施設のほとんどが指定管理制度を導入しております。

天下りの定義が何なのか？ということがはっきりしませんが、市役所OBの方ということであれば、指定管理者となっている団体の責任者になっているケースは数件あります。

**【D 委員】**

私たちの公民館活動でも例えばスキー場とか、宿泊施設とかといった施設を使うことは非常に多いです。市にも沢山の施設がありますが、各施設それぞれが競合してサービスを向上させることが大事ではないかと思えます。

今沢山ある施設は合併前からある施設なので、数的には非常に多くの施設となっておりますが、実際にこれだけの施設を持つ必要はないと思っています。ですから、順々に数を減らしていったほうが良いと思っています。

もし、このままでやるとすれば、民間への譲渡や、サービスの面でお互いに競合する、等した方が、使う側からしても良くなるのではないかと思えます。

それから、やはり指定管理にする場合におきましても、これまで市で経営しておいた人件費の関係から計算して支払っているという話でしたが、実際にはその辺も相当切り詰めて話をしていただかないと、指定管理の意味がありません。

やはり数は減らす方向で考えないと、市としてもこれから色々と経費がかかってくるの

で、厳しくなるのではないかと思います。

**【委員長】**

私の感覚ですが、昔から南砺市にお住まいの方々、ほのぼのとした人間性がたくさんあると思っております。これは、信仰のおかげだろうと思っております、本当に隣近所地域の皆さんを信用しながら、協調をとって豊かな地域性をもっておる県下でもまれにみる地域だろと思っております。したがって、古来からの文化が巣くっている。これはやはり、人間徳的な大きな財産であろうと思っております。C委員、戦後60年が経ちまして事業仕分けをしなければならん、殺伐とした時代が参りましたが、いかがでしょう？

**【C委員】**

非常に皆さんの意見も聞きまして参考になりましたけれども、時代の変化というものは避けられないということで、今、本検討委員会の中でどういう方向性を示せば良いか？ということが見おりません。ただ漠然と思いを語り合っているというところかと思いますが、この後1年かけて方向性を出してほしいと思うところです。

それから、意見としては温泉施設、スキー場、宿泊施設の状況を見ましても、ほとんど指定管理でやっていることから、これありきになっています。しかもこの指定管理で本当にレベルアップされているのか？従来通りの形でやっていけば良いという雰囲気は私自身も見えるような気がします。

数が多いことは、建てたときの経緯などがあってそれを引き継いでいるので仕方ないのだと思いますが、管理者になったからには連絡といましょるか、コンタクトをきちんととって、階段を昇っていつていただきたいと思えます。

それからもう一つは、出来たときの経緯もありますので、ここだけで廃止するとかは難しく、やはり地域の意向を汲み取れる検討委員会というものも必要かな？と思いました。

**【委員長】**

ありがとうございます。皆様方に、必要性和将来どういふふうにあるべきか？ということを示さずにフリートークさせていただいております、随分失礼なこともあったのかな？と思っております。

しかし、最初でございまして、皆さん方が常日頃どんなことを思っておられるのか？どうすればこうした施設が本当にベターな方向付けを決められるのか？と思っております、進めさせていただきます。

だいぶ時間も経過いたしましたので、今回特にどうしてもこれだけは言っておきたいということがありましたら聞かせていただきたい。

**【K委員】**

何回も聞きますが、指定管理者というのは市議会の審議、承認を受けており、毎年承認をとっていますよね？市議会でそのような議論っていうのは無いのですか？

(総務部長)

私のほうから答えさせていただきますが、基本的に指定管理は3年ないし5年の指定期間でやっております。

それで新しく指定する際にまた議会の総意となるということになっております。それと先ほどその場で検証が出来ているのか？という問いについてですが、基本的には毎年指定管理者から報告はいただいております。しかし、それだけでは利用者の反応については判りません。そこで、今年はアンケート調査を実施して、全ての施設ではないのですが、必要と思われる施設について、利用者の評価を分析・検証していきたいと思っております。

もちろん今までも利用状況の人数表などの提出や、意見してくれる方からの話は伺っていましたが、今年は系統立てて検証を行っていきたいと考えております。

また、このアンケート調査については、本委員会と同時進行しております。スキー場につきましては来年1・2月の実施となりますので、本委員会には間に合いませんが、既にアンケート調査を始めている施設につきましては、取りまとめ次第、報告できると思っております。

また、先ほどおっしゃいました、ではどのように検証しているのか？という話ですが、指定管理者からは報告を受け、ヒアリングを行っております。これは直接利用者の声ではないものですが、担当としては一応のチェックは行っております。

**【K 委員】**

私が聞きたいのは、そのチェックを市議会されているのか？ということです。

市議会で審議しているということは、そのチェック内容についても市議会で議論されているということではないのですか？

それがされていないようなら、市議会も必要ないということになってしまいますよね。  
(総務部長)

もちろん議会からは3年ないし5年の更新時に議会の承認を得ることとなっております。K 委員さんからもご指摘いただいたように、しっかりしたチェックがなされていないのではないか？という指摘を議会からもいただいております。今年きちっと利用者アンケートをとることにしております。

**【J 委員】**

アンケートは誰が取るのですか？

(総務部長)

もちろん市が実施するのですが、専門の民間業者に委託して実施いたします。

**【J 委員】**

指定管理者がアンケートをとるのではないですね？

(総務部長)

もちろん第3者が調査いたします。

**【K 委員】**

基本的には市議会が承認しなくては駄目ですよえ？そうすれば、そこでチェック機能が働かなければ意味が無いわけで、ここでこのような議論をするのはちょっとお粗末ではないか？と思うのですが、もうちょっと前の段階でトップの姿勢とかそういったことは議論されているべきではないか？と思います。

(建設部長)

この公共施設の管理費という資料がありますが、この中に算定方法という部分がございます。この中で「特認」と「公募」とありますが、この「公募」というのが全国に向けてこの施設を運営してもらえるところを公募し、民間の業者が指定管理者となっている施設であります。また、「特認」というのは、地元の団体あるいは第3セクターといったところが指定管理者となっている施設で、地元に変関わりが深いと考えられる施設については特認という形をとっています。従いまして、今ほどの「公募」する施設をもっと増やしていく必要性についても、議会から指摘されているところであります。

【K 委員】

この場で、先ほどのような話をしているのは、この先議論が進まないと思います。その部分は別のところできちっと議論してより良い方向へ進めていただければいいと思います。

私はもともと、1,200 余りある施設を何とかするのが委員の役割だと思っていたのですが、今までの話からすると温泉とスキー場と宿泊施設を先にやりましよう決められたこの委員会の上部の組織（行政改革懇談会）では、どういう意図で3つに決められたのか？また、どの程度までやろうと考えられたのですか？

先ほども申し上げましたが、これら施設はそれぞれ非常に住民と密着した施設で、これを廃止しようすれば大変なことになります。これをやっていくためには、きちっとした裏づけがないと駄目だと思います。私はそれが数字だと思っています。

やはり、上の方でどのようにしたいのか？ということですよ。細かい部分はこの委員会でやるとして、財政上の問題も含めて市としてどれくらいの削減をしたいのか？何も無いところから、「ではどうする？」といわれても、委員会としては荷が重過ぎると思います。

ですから、次回にはそういった資料も提示いただければ、議論ももっと前に進むのではないかと思います。

【委員長】

出来るだけご意見を尊重させていただいて、整理させて次回に望みたいと思います。

(下田総務部長)

今ほどの話についてですが、昨年策定しました方針の中で、今回挙げております3施設類型以外の施設については、行政主導のサービス施設でございますので、内部の委員会等で方向づけは決めさせていただいております。

ただし、温泉などの3施設類型につきましては、地域との結びつきが非常に強く、ある意味“地域振興策”の一環として運営されている施設が非常に多いということでございますので、内部での検討だけで結論づけることが出来ないということで、本年度小委員会を設けて、その中で検討していただき方針を示したいと思っております。

当然その方針に基づいて、具体的に整理をしていく作業が必要となってきますが、では、その作業は誰がするのか？ということにもなりますが、基本的には委員会で示していただいた方針を、私ども行革担当でもう一度整理しまして、それぞれの担当課において地元と



の交渉をしていくということになります。

もう一つの質問ですが、指定管理者制度の基本的な考え方は、先ほどもサービスに関するお叱りを受けましたが、そのサービスに関するノウハウについては、公務員よりも民間の能力が高いという考え方で導入しているものです。

それからもう一つ、指定管理者制度とは別に公共施設をどうしていくのか？とことについて **No.3 財政資料** の中に、合併したことによる特典がある「合併算定替期間」(～H27) という時期、それから「激変緩和期間」(H27～H31) を経まして、それ以降は収入的に大変厳しい状況がやってまいります。

資料にありますとおり「義務的経費、その他経費、充当一般財源」という今のまま維持するために最低限必要な経費が、この見込みでいきますと平成 29 年には歳入額を超えてしまうと財政当局は考えておまして、少なくともこういう事態になる前に、更に義務的経費を減らさなければ市の財政が立ち行かなくなるということを念頭において議論をしているところです。

繰り返しになりますが、昨年度、ほとんどの施設については方針を出しておりますが、この3つの施設類型については大きな問題があるので、なかなか身内だけでは結論を出すことが出来ませんでした。そこで今年度、皆様のお力を借りするために本検討委員会を立ち上げ、その中で今一度検討いただき方針を出していきたいと思っております。

そして、その方針に従いまして市の担当部局が地域との交渉をいたします。方針が出ないことには地元との交渉を始められないということです。

#### 【委員長】

それでは、時間も迫ってまいりましたので、本日アドバイザーとしてお越しいただいております新町さんからアドバイスをお願いいたします。

#### 【アドバイザー】

本日の議題は公共施設の再配置でございまして、やはり一番基本になることは、納税者として我々の地方公共団体に何があるのか？どこにあるのか？どれくらいの経費がかかっているのか？全体像はどうか？と、こうしたことを議論する中で、その中で何が必要なのか？こうしたことを明らかにしていくことが、本会議の目的であります。

また、地域の中で、これをどういう基準で、どうやって判断していくのか？再配置の基準を定めて、効率的な配置であるとか、効率的な経営のあり方を、どうやって実現していくのか？といった部分が本委員会の課題だと思っております。

今日、事務局から出されている公共施設の管理経費の資料がありますが、恐らく地方公共団体の中で、ここまで緻密に施設群というくくりでまとめられているところはなかなか無いのではないかと思います。

但し、私たち民間レベルで申しますと、先ほど総務部長がおっしゃられたとおり、市としては運営・サービスについて、民間の知恵を出来るだけ活用し、全体の経費を指定管理料の中に押し留めることにより、費用を限定しながらサービス等をより良いものにしていくのが指定管理者制度ですが、本日は話の内容が指定管理業務の内容に終始したわけで、

私どもから申せば、これで本当に精査出来たことになるのだろうか？と疑問に思います。

民間レベルで話をいたしますと、本日の内容は本当に表面的なものだけで、今後人口が減る中で施設の再配置を考える場合、どうやって効率的な再配置をしていくか？という話の中で、これを維持するための投資経費をどうやって落としていくか？という、更新経費をどう見るのか？という観点が完全に欠落しているのではないかなと思います。

我々ですと、減価償却を見るわけですが、この減価償却分がかかってないようで、実はかかっています。大きな施設でいうと、例えば「ゆー楽」なんかは床面積が714㎡もありまして、これを耐用年数が何年なのか？年間どれくらいの経費を将来の更新経費として負担していかなければならないのか？ということも含めて、バランスシートなりPLなりを想定して、それが適切なのか？という観点をキチッと入れていかないと、正しく評価したことにならないと思いますし、また、サービスの質のご指摘もありましたが、サービスの質という中で、確かにここに利用状況として総利用人数があり、そして一人当たりのコストも提示されていますが、例えば稼働率という考え方から、同種の施設を並べてみた場合も視野に入れながら、あるべき論をつめていくこともやらないと、ただイタズラに人数が少ないとか利益が足りないということだけでは図れないと思っております。

いずれにしても、再配置の問題は全国的に自治体の喫緊の課題となっております。しかし課題になっていても、なかなか着手はできておりません。

今回の委員会では温泉施設・スキー場・宿泊施設に限定されていますが、この後一斉に立替の時期がやってくる公共施設も多くありまして橋梁もその一つです。南砺市に橋がどれくらいあるのかわかりませんが、例えば富山市であれば約2,200ございます。その中で15m以上の橋は1割あり、これを将来に向けてどれくらいの費用がかかるか？いつ立て替えが必要か？また、その必要があるのか？ということも、各自治体は結論を出して、それを財政余力の中で検討せざるを得ないところまで来ております。さらに下水道とか用水路とかあり、そのような中で公共施設の管理経費にどれくらいの経費をさけるのか？また、適切なサービスはどれくらいなのか？ということ自治体の財政状況や人口減少を見てみると、そこまできているのだろうと思います。

その中で、いち早くこのような問題を掲げられて進められている自治体は非常に先進的なことであると思っております。

ただし、南砺市は多くの町村が合併してできた市であり、それぞれにもっていた施設があります。その中で、言葉は非常に悪いわけですが、住民のエゴと申しますか、思い入れのある施設であることから、当然利害が対立すると思います。その中で、どうやってそれを乗り越えて望ましいあり方を構築していくのかということが、この委員会に課せられた責務なのだろうと思います。

その中で、稼働率であったり減価償却の面であったりという本質的な部分も出して、それにどういった基準で判定を加えていくかということを考えていかななくてはならないということです。

**【委員長】**

ありがとうございます。

**【J 委員】**

議論がかみ合わない点、1点気になる点がございまして、再配置というのは残すか残さないかという議論になりがちなのですが、指定管理ということで、もっと努力することも必要ではないか？と思います。要は、営業努力によって行政からの支出がゼロになれば議論の必要は無いのではないか？という思いが皆さんの中にあるのだらうと思います。

温泉であったり、宿泊施設だったり、スキー場であったり、民間で利益を上げているところもあるのに、何でここにあるように低調なのか？という漠然とした疑問があるところが、一番かみ合わないところではないでしょうか？

ですから、指定管理制度に関する評価制度と、営業努力がきちとなされているか？という検証をモデルケースで構わないので、ご提示いただいて、「これだけ努力しているのに、これだけ行政からの支出があるんだ……ではどうするのか？」という形でこの委員会で議論していければ、というのもシンキングベースが一定にするということを提案したいと思います。

**【委員長】**

地域で大変ご苦勞いただいております、ヨスマ倶楽部など観光について大変ご苦勞いただいております副委員長さんからも観光の面でこういったことが課題だらうという話しをお願いします。

**【副委員長】**

観光ということですが、今、定住人口がどんどん減っていく中で、交流人口の拡大でどれくらいの経済効果が上がるのか？について、皆さん大変な苦勞をしておられると思うのですが、新幹線や高速道路等これだけ南砺市の環境がよくなってきている中で、先ほど少し言われましたが、やはり人の心だとか、おもてなしの心だとか、そういったところが大事なのに、なかなかそういう気持ちにはなりにくいことだと思います。

先ほど市長も言っておりましたが、施設についてはフロントなど現場の声をもっと聞いてみると、結構よいアイデアを持っている方もおられます。実際に現場でどうやって良いか？と悩んでいる声はすごくよい意見となります。

また、アドバイザーの御知恵をいただきながら、何かひとつの方向性を見つける時には、やはり現場担当の人たちの悩んでいるところ、「こうしたい」と思っているところの資料なんかも次回あれば良いのではないかと思います。

それと最後に、本日は色々な意見が出てよかったのではないかと思います。

**【委員長】**

冒頭から、将来の必要性の方向をきちんと決めて、協議させていただければよかったのか？とも思いますが、そうすると最初の委員会から根深い問題点が出てしまい、かえって方向づけが決まらないのではないかと考え、フリートークさせていただき、その中から新しい方向付けを見出させていただければと思って進めさせていただきました。

歯がゆい部分も多々あったかと思いますが、主に指定管理制度を導入しております3施

設類型について資料をお出ししたところですが、指定管理制度の仕組みが良く理解されていなかった部分もあったかと思えます。

また、アドバイザーからは、実質的にその年度だけの必要経費のみでなく、将来の減価償却など更新時の負担はどうなるのか？という部分を考えて場合に大変な問題が輻湊しているのではないか？というご指摘がございました。まさにそのとおりでろうと思っております。施設は建てた次の日からどんどん古くなっていきますので、更新時にどうするのか？という部分も当然視野に入れていかななくてはならないと思っております。

26年度から合併特例債もなくなります。厳しい財政状況を抱えているということで、出来れば次回、本日あったいくつかの諸問題を掘り起こして、また皆様方から貴重なご意見をいただければと思っております。

本来は全ての委員からご意見をいただくべきところですが、2・3の方からご意見を聞く時間がなくなりました。本当に失礼をいたしました。

それでは、当局から今後のスケジュールについて簡単に説明ください。

(事務局)

#### ◆今後のスケジュールについて説明

##### 【委員長】

以上で本日の委員会を閉会したいと思います。こちらでまた整理させていただき、今のところ年3回でということですが、次回できるだけ早く開催させていただきたいと思えます。本日いただいた様々な意見をもう少し具体的に提案してご意見を伺う機会を設けたいと思っております。その節はまたよろしくお願ひいたします。

##### 【K委員】

私これらの施設について場所すら知らない所が多く、何か見せていただく方法は無いのでしょうか？ビデオでもあれば貸していただくとか出来ればいいのですが、何も知らないで議論するものどうか？と思えますが……。

##### 【委員長】

そういったことも含めて検討させていただきたいと思えます。

(総務部次長)

本当に貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。皆様には長時間にわたり意見交換いただきましたが、本日頂きました課題などについて次回まで取り纏めさせていただき、皆さんに資料などお示しさせていただきたいと思っております。そして、新町様にも多方面にわたりますご提言を頂きまして、ありがとうございます。それでは閉会にあたりまして、総務部長の方から一言ご挨拶を申し上げます。

(総務部長)

貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。先ほどのスケジュールの中でも申し上げましたとおり、今日いただきましたご意見を参考にいたしまして、次の検討委員会に結び付けさせていただきたいと思っております。また、皆さんの日程がなるべく合うように配慮させていただきたいと思っておりますが、なにぶん16人と人数が多い関係

上、委員長・副委員長さんの日程に合わせざるを得ないということでございます。それでも、なるべく早い時期に案内をしたいと思っておりますのでご理解の程よろしくお願いいたします。

本日、沢山のご意見をいただきましたけれども、事務局でなるべく消化しまして、次回に望みたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

終了：午後 4 時 15 分